

〇美術館で、このまちの様々な姿を知る『大崎今昔展』開催！

本年10月10日[土]・11日[日]・12日[祝]



私達のまち「大崎」の過去と今の姿を 様々なアングルから俯瞰する今昔展。

知られざる歴史の物語から、郷土の昔を伝える様々な記録。さら に大崎に棲んだ多くの蝶の標本や、大崎の催しのアルバムなど、人と地域を育ててきた学会(まなびや)の姿も交えて、大崎の今 と昔の様々な断片を切り取り“ふるさと大崎”を見つめ直します。



【展示内容1】 (※すべてタイトルは仮称)

「新鮮大崎・大崎今昔物語」抜粋展示

過去から現在、未来へと受け継がれていく「ふるさと大崎」のDNAを訪ねる小誌「大崎今昔物語」より、これまでの数編をリヒート展示。

【展示内容2】

地域コミュニティ誌「ふれあい」

今年で30年の歴史を築いた大崎第二地域センター発行の「ふれあい」。価値ある多くのバックナンバーを含めて、地元大崎の血の通ったレポートとしての成果を公開。

【展示内容3】

新しいまちづくりの姿

「副都心大崎」の指定から始まった大崎駅周辺地域の再開発の姿。従前従後の変容ぶりや、再開発がもたらした成果のかたちを辿ります。

【展示内容4】

「しながわ夢さん橋」の歩み

すでに四半世紀超もの歴史を築いた手作りの伝統イベント「しながわ夢さん橋」。それぞれの時代のポスターを通じて歩みを振り返ります。

【展示内容5】

ふるさと大崎のアルバム

山手線沿いの休眠地を利用して作った田んぼでの稲刈り。また、全国の「ひょうたん」大集合の祭りや、大崎駅の七夕飾りなど、思い出深い催しをご紹介します。

【展示内容6】

大崎の学会(まなびや)

やがて100周年を迎える芳水小学校の歴史や、10周年を迎えた日本初の小中一貫校・日野学園の姿などを紹介。また区立大崎中学校の活動や、都立大崎高校によるジオラマ展示など、郷土大崎のまなびやとしての、地域とのつながりと取り組みを見つめます。

【展示内容7】

蝶の標本／松江城国宝認定記念展示(予定)／その他

地元の蝶を採り続けた先達の貴重な採集標本を始め、大崎と縁の深い松江市からの協力出展も。

入場無料

どなたもお気軽に
ご来館ください

〇美術館のご案内

- 開館時間：10:00～18:30 (※入館は閉館時間の30分前まで)
- 休館日：木曜日、年末年始、保守点検日
- 交通：「大崎駅」北改札東口から徒歩2分
- 所在地：大崎1-6-2大崎ニューシティ2号館2階

【〇美術館公式サイト】
<http://www.shinagawa-culture.or.jp/>